

FD関連講演会等実績（令和7年度実績）

| | | | |
|-------|--|---|--|
| | ①国際総合科学群FD・SD研修会 | ②国際総合科学群FD・SD研修会 | ③国際総合科学群FD・SD研修会 |
| 日時 | 令和7年6月5日 | 令和7年6月13日 | 令和7年6月20日 |
| 形式 | オンライン | オンライン | オンライン |
| 参加人数 | 48名 | 27名 | 34名 |
| 講演テーマ | 大学院教育における国の政策的動向と 将来の大学院を考える | 学部長賞・共通教養賞講演① | 学部長賞・共通教養賞講演② |
| 講演者 | 高等教育推進センター 菊池 芳明 学務准教授 | 共通教養賞 坂口 利裕 教授 国際教養学部長賞 石川 永子 准教授 | 国際商学部長賞 根本 裕太郎 准教授 理学部長賞 鈴木 凌 助教 データサイエンス学部長賞 上田 雅夫 教授 |
| | ④国際総合科学群FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催） | ⑤教学IRと連動したFD | ⑥研究推進部主催J-PEAKSセミナー |
| 日時 | 令和7年8月4日 | 令和7年9月4日 | 令和7年9月11日 |
| 形式 | 対面 | オンライン | 対面（オンライン併用） |
| 参加人数 | 25名 | 40名 | 52名 |
| 講演テーマ | 第1回学生参画型FD・SD研修会 ”面白い”授業の基準はどこにある？ —多様な学生と教員の双方にとって理想的な授業とは— | 内部質保証と教学IR —第4期認証評価に向けて— | 自然言語処理技術による医療現場の課題解決 ～電子カルテデータ×自然言語処理による 質の高い研究創出へ～ |
| 講演者 | — | 高等教育推進センター 菊池 芳明 学務准教授 | 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科教授 荒牧 英治 |
| | ⑦高等教育推進センター主催 | ⑧初年次教育FD | ⑨国際総合科学群FD・SD研修会 |
| 日時 | 令和7年9月12日 | 令和7年11月6日 | 令和7年12月3日～ |
| 形式 | オンライン | オンライン | 録画配信 |
| 参加人数 | 91名 | 27名 | 46名 |
| 講演テーマ | 第4期大学機関別認証評価受審に向けて | 学生に共通体験を与える初年次教育 | シラバス記載の原則と実践 |
| 講演者 | — | 大阪公立大学国際機関教育機構 准教授 深野 政之 | 高等教育推進センター 菊池 芳明 学務准教授、 FD・SD推進委員会事務局 |
| | ⑩ヨコハマ4大学FD・SD連絡協議会 | ⑪教学IRと連動したFD | ⑫国際総合科学群FD・SD研修会 |
| 日時 | 令和7年12月14日 | 令和8年1月21日・28日 | 令和8年1月23日 |
| 形式 | 対面（横浜国立大学 常盤台キャンパス） | オンライン（Zoom） | オンライン |
| 参加人数 | 46名 | 第1回 26名、第2回 28名 | 15名 |
| 講演テーマ | 初年次教育について考える —大学での学びのスタートを支える仕組みとは— | 内部質保証と教学IR：初級編 第1回 内部質保証とは何か、なぜ必要なのか 第2回 学修成果を可視化するとはどういうことか&事例 | 異分野横断型教育プログラムによる博士人材育成 —熊本大学の10年余の取組と実績— |
| 講演者 | 横浜市立大学・神奈川大学・関東学院大学・横浜国立大学 担当教職員および学生 | 高等教育推進センター 菊池 芳明 学務准教授 | 熊本大学 大学教育統括管理運営機構 梅田 香穂子 |
| | ⑬国際総合科学群FD・SD研修会 | ⑭国際総合科学群FD・SD研修会（理学部主催） | ⑮国際総合科学群FD・SD研修会（データサイエンス学部主催） |
| 日時 | 令和8年1月29日 | 令和8年2月6日 | 令和8年2月19日 |
| 形式 | オンライン | 対面・オンライン併用 | オンライン |
| 参加人数 | 20名 | 56名 | 28名 |
| 講演テーマ | サバティカル終了後報告 | 青少年の性的問題行動に関する理解と対応 | PBL事例紹介 |
| 講演者 | 国際教養学部 土屋 慶子 教授 | よこはま法務少年支援センター（横浜少年鑑別所） 地域非行防止調整官 | 国際教養学部 石川 永子 准教授、鈴木 伸治 教授 |
| | ⑯国際総合科学群FD・SD研修会（FD・SD推進委員会主催） | ⑰情報科目FD・SD研修会 | ⑱教養ゼミFD・SD研修会 |
| 日時 | 令和8年3月9日 | 令和8年3月17日 | 令和8年3月23日 |
| 形式 | オンライン | オンライン | 対面・オンラインのハイブリッド開催 |
| 参加人数 | 20名 | 17名 | 55名 |
| 講演テーマ | 第2回学生参画FD・SD研修会 未来の授業をアップデート！学生と教員のトークセッション —対話から生まれる授業改善のヒント— | 令和7年度の情報科目運営の振り返りと令和8年度の初年次情 報科目運営について | 第2回共通教養FD（教養ゼミFD） 教養ゼミの効率的運営と期待される教育効果 |
| 講演者 | — | 吉田 栄一 共通教養長、 金 亜伊 情報教育委員会委員長 | 吉田 栄一 共通教養長、学術情報課担当者、 土屋 隆裕 教授 |

国際総合科学群

| | ①医学科FD | ②海外実習報告会 | ③医学国際セミナー/医学会講演会FD |
|-------|--|--|--|
| 日 時 | 令和7年5月28日～8月31日 | 令和7年5月28日 | 令和7年6月20日 |
| 形 式 | 録画配信 | 対面開催/録画配信 | 対面・録画配信 |
| 参加人数 | 24名 | (対面開催) 60名/ (録画配信) 45名 | (対面開催) 6名/ (録画配信) 12名 |
| 講演テーマ | 医学科カリキュラムについて (2025年度版) | 海外実習報告会 | IDH mutant glioma development - 自身のキャリア・ディベロップメントも含めて - |
| 講演者 | 横浜市立大学 医学教育学 教授 稲森正彦 | 令和7年3月に海外臨床研修に参加した医学科6年生14名 | マサチューセッツ総合病院 Professor Daniel P. Cahill |
| | ④医学国際セミナー/医学会講演会FD | ⑤医学国際セミナー/医学会講演会FD | ⑥医学科・看護学科合同FD |
| 日 時 | 令和7年7月7日 | 令和7年7月18日 | 令和7年8月8日 |
| 形 式 | 対面 | 対面 | オンライン・録画配信 |
| 参加人数 | 5名 | 24名 | (オンライン) 37名/ (録画配信) 4名 |
| 講演テーマ | 横浜市大から世界へ その道は一つではない | 創造的開発人材を育て国産医療機器を創る ～医工融合型新専攻・新学部を設置～ | 患者からみる医学教育・看護学教育 |
| 講演者 | ロズウェルパークがんセンター 乳腺外科主任教授 高部和明 | 神戸大学大学院医学研究科 教授 村垣善浩 | 認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子 |
| | ⑦海外実習報告会 | ⑧医学科FD | ⑨医学教育推進部門FD |
| 日 時 | 令和7年9月3日 | 令和7年12月2日～12月4日 | 令和7年12月19日～1月20日 |
| 形 式 | 対面開催/録画配信 | 対面・オンライン | 録画配信 |
| 参加人数 | (対面開催) 40名/ (録画配信) 28名 | (対面) 26名/ (オンライン) 14名 | 111名 |
| 講演テーマ | 海外実習報告会 | NUS Week in YCU (シンガポール国立大学との国際学術交流イベント) | ①「ベストティーチャー賞に授業の秘訣をきいてみました」 ②「障害学生支援について」 ③「患者からみる医学教育・看護学教育」 |
| 講演者 | 2025年度に医学科海外研究実習に参加した医学科4年生4名、 2024年度にNUSシミュレーショントレーニングプログラムに 参加した医学科6年生6名 | シンガポール国立大学 医学部長 Prof.Chong Yap Seng 副学長(研究担当) Prof.Chng Wee Joo 学長補佐(教育担当) Associate Prof. Alfred Kow Wei Chieh ンテンフオン病院・シユロンコミュニティ病院 病院長 Associate Prof. Dan Yock Young 他本学より26名 | ①横浜市立大学 組織学教室 富澤信一/消化器内科学教室 岩 田悠里 ②横浜市立大学保健管理センター 小田原 俊成 ③認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML (コムル) 理事長 山口 育子 |
| | ⑩看護学科FD | | |
| 日 時 | 令和7年12月23日 | | |
| 形 式 | 対面・オンラインのハイブリッド | | |
| 参加人数 | 58名 | | |
| 講演テーマ | “患者さん”から学ぶ看護教育のあり方 ～「患者さんに育ててもらった」経験はありますか？学生と 教職員で一緒に振り返りましょう！～ | | |
| 講演者 | — | | |

医学科・看護学科